

重点項目の代替措置について

1 タンク配管への緊急遮断弁の設置（許可容量：500kL以上）（第2、3期）

第2期対策計画の令和元年度の進捗状況（参考）において、代替措置を含め「未対策」と回答のあった3事業所に対し、取組み状況をヒアリングした。

○ヒアリング結果

- ・受入れ・受け払い時以外は、主要な配管の弁は閉止している。
- ・災害発生時は、速やかに運転作業員が手動で閉止することとし、閉止手順の教育、訓練を実施している。

⇒代替措置として認められる。

令和2年度実績では、「代替措置（弁は未設置）」に分類する。

引き続き、すべての配管への緊急遮断弁の設置を促進する。

（参考）第2期対策計画（令和元年度）の進捗状況

項 目	計画時の状況		H30 末 実績	R1 末 実績	R1 末 対象 施設数
	H29 末 時点	R2 末 目標			
重点1 タンク配管への緊急遮断弁の設置（許可容量：500kL以上）					
すべての主要な配管への設置	90	101	109	110	353
代替措置（一部は弁を設置）	36	39	28	29	
代替措置（弁は未設置）	155	145	143	144	
一部は弁を設置、残りは未対策	24	26	24	23	
未対策	50	44	49	47	

2 小規模タンクの漂流対策（3期）

事業所アンケートにおいて、管理油高の下限値の見直し以外の対策として、回答があった事例について、代替措置として認めるか検討する。

対 策	代替措置の内容	進捗状況の評価（案）
防油堤の設置（追加）	津波の波力に対する耐力を有し、津波高さ以上の防油堤を設置する。	◎対策実施
タンク注水	津波が想定されるとき、滑動等が発生しない管理油高まで注水する。	○代替措置
他のタンクからの内容物の移送（追加）	予め移送能力などの計算を行い、地震による配管の破損・危険物の漏えいがないことの確認後、近隣のタンクから内容物を移送できるようにする。	○代替措置
アンカー等による固定	タンクをアンカー等で固定する。（津波に対する強度計算がされている場合に限る）	○代替措置 （消防庁において、滑動対策等の検討がされており、その成果を考慮する。）